

資金繰り「苦しい」が4割強という現状… 6割近くが「消費税率10%」議論、時期尚早

- ★ 「当面の経営上の問題点（複数回答）」について、1位が「需要の停滞」の172社。2位が「原材料価格の上昇」の63社。「取引条件の悪化」が52社で3位。
- ★ 「現在の資金繰り」について、44.6%（104社）が「普通」と回答。「やや苦しい」が28.3%（66社）、「苦しい」13.7%（32社）で続き、「問題ない」は13.3%（31社）。
- ★ 「現在の雇用人員」について、80.2%（186社）が「適正」と回答。「不足」が11.2%（26社）で、「過剰」の8.6%（20社）を若干上回った結果となった。

平成23年4～6月期 三次商工会議所管内（旧三次市）景況調査【概要】

三次商工会議所

平成23年7月に実施した第85回三次商工会議所管内（旧三次市）景況調査の結果は次のとおり。本調査は、三次商工会議所管内（旧三次市）の企業を対象に四半期ごとに実施するもので今回が85回目。市内の500事業所を抽出し、集計企業数は237社（小売業66社、卸売業31社、製造業39社、建設業57社、運輸・交通業14社、観光・サービス業30社）で回収率は47.4%。

【概況】

今期（4～6月）の調査結果を見ると、自分の事業所の状況をどう見ているかを示す業況DIは、全業種平均で▲40.4と、3ヶ月前の前回調査▲37.2から3.2ポイント悪化した。業況が「かなり好転」と答えた事業所が全体の0.4%、「やや好転」が14.5%で、逆に「やや悪化」が38.3%、「かなり悪化」が17.0%だった。同様に、売上DIも1.4ポイント悪化して▲35.2。採算DIについても1.9ポイント悪化して▲46.2。原材料（商品）仕入価格は36.0から31.2と若干下降傾向。

今回事業所に対し、「現在の資金繰り」について尋ねたところ、「苦しい」と回答した事業所が13.7%（32社）で、「やや苦しい」と回答の28.3%（66社）と合わせ42%（98社）で4割以上となり、5社に2社が資金繰りに厳しさを感じている。「普通」と回答したのは、44.6%（104社）。一方、「問題ない」と回答したのは、13.3%（31社）にすぎない。そんな中、政府が検討している「消費税率10%」について、「東日本大震災復興財源確保のため」9.3%（21社）、「社会保障制度を維持するため」12.0%（27社）、「財政再建のため」12.4%（28社）を合わせ33.7%（76社）が「やむを得ない」と一定の理解を示した。しかしながら、35.1%（79社）が「まずは歳出削減、引き上げ議論はその後」と回答し、「景気拡大による増収増税が先。今、議論すべきではない」と回答した23.6%（53社）を合わせ6割近くの58.7%（135社）が、消費税率10%への引き上げ議論に反対。資金繰りが厳しい事業所が多い中で、負担を強いる施策の前に、景気拡大（回復）に繋がる施策が望まれる。

※ DI値（景況判断指数）について

DI値は、業況・売上・採算などの各項目についての、判断の状況を示す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものでなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がり意味する。

業況DI (好転割合) - (悪化割合)

売上DI (増加割合) - (減少割合)

採算DI (好転割合) - (悪化割合)

業況は、全業種合計で今期▲40.4。業種別では、小売業、建設業、運輸・交通業の3業種で悪化。数値的にみると、小売業（▲42.4）、建設業（▲47.4）、運輸・交通業（▲64.3）、観光・サービス業（▲42.9）と、この4業種が▲40台以上で特に厳しい。

売上は、全業種合計で今期▲35.2。業種別では、業況同様、小売業、建設業、運輸・交通業の3業種で悪化。来期についても、▲33.6とほぼ横ばいの見通しとなっている。

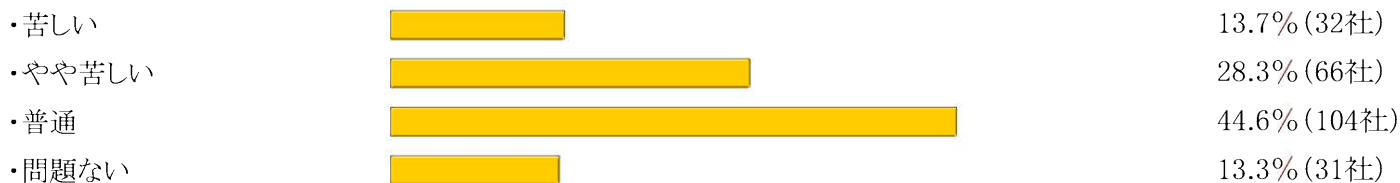
原材料(商品)仕入価格は、全業種合計で今期31.2。業種ごとに若干の上下はあるが、全体的には、ほぼ横ばい。引き続き、高値で推移していると思われる。

採算は、全業種合計で今期▲46.2。業種別では、小売業、卸売業、建設業、運輸・交通業の4業種で悪化。悪化した一番の理由は「売上の減少」。続いて、「売上原価（仕入・原材料費）の上昇」で、3番目が「売上単価の低下」と、この3項目で93.8%を占める。

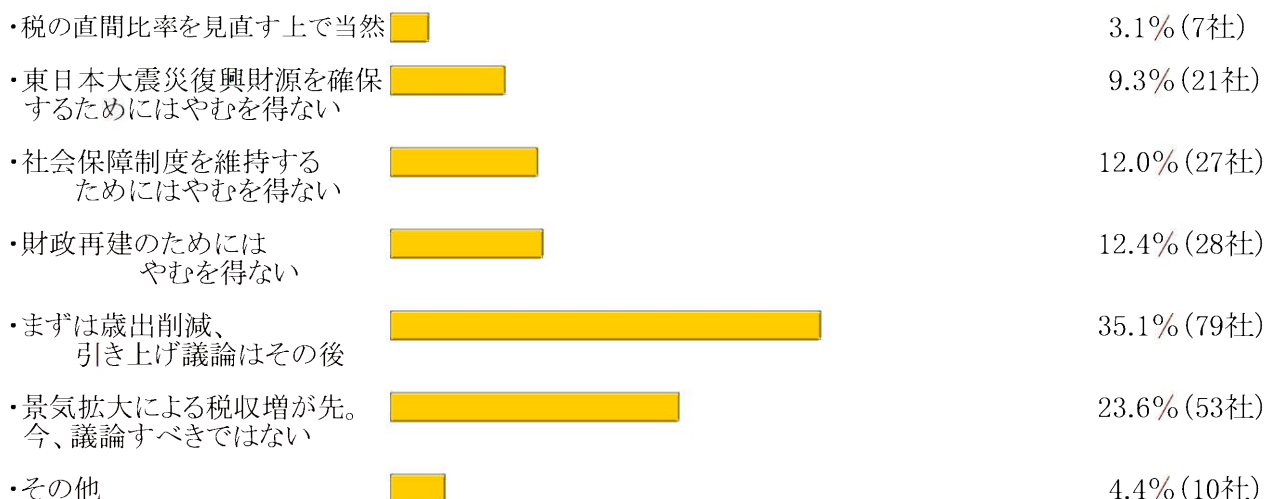
【当面の経営上の問題点】(上位三項目・複数回答)



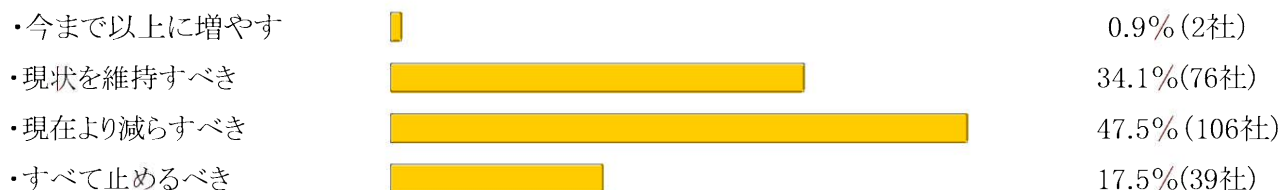
【現在の資金繰り状況は？】



【「社会保障と税の一体改革案」で2015年度までに段階的に消費税率10%に引き上げることが検討されていますが、どのようにお考えですか？】



【「原子力発電」について、どう思われますか？】



※百分率は有効回答数を分母として算出

【業況DI】

	前期に比べ	来期見通し
全業種	▲ 40.4	▲ 34.6
小売業	▲ 42.4	▲ 37.9
卸売業	▲ 16.1	▲ 22.6
製造業	▲ 35.9	▲ 34.2
建設業	▲ 47.4	▲ 30.4
運輸・交通	▲ 64.3	▲ 71.4
サービス業	▲ 42.9	▲ 30.8

(好転割合－悪化割合)

【売上DI】

	前期に比べ	来期見通し
全業種	▲ 35.2	▲ 33.6
小売業	▲ 34.8	▲ 31.8
卸売業	▲ 16.1	▲ 25.8
製造業	▲ 25.6	▲ 31.6
建設業	▲ 40.4	▲ 37.5
運輸・交通	▲ 64.3	▲ 64.3
サービス業	▲ 44.8	▲ 25.9

(増加割合－減少割合)

【採算(営業利益)DI】

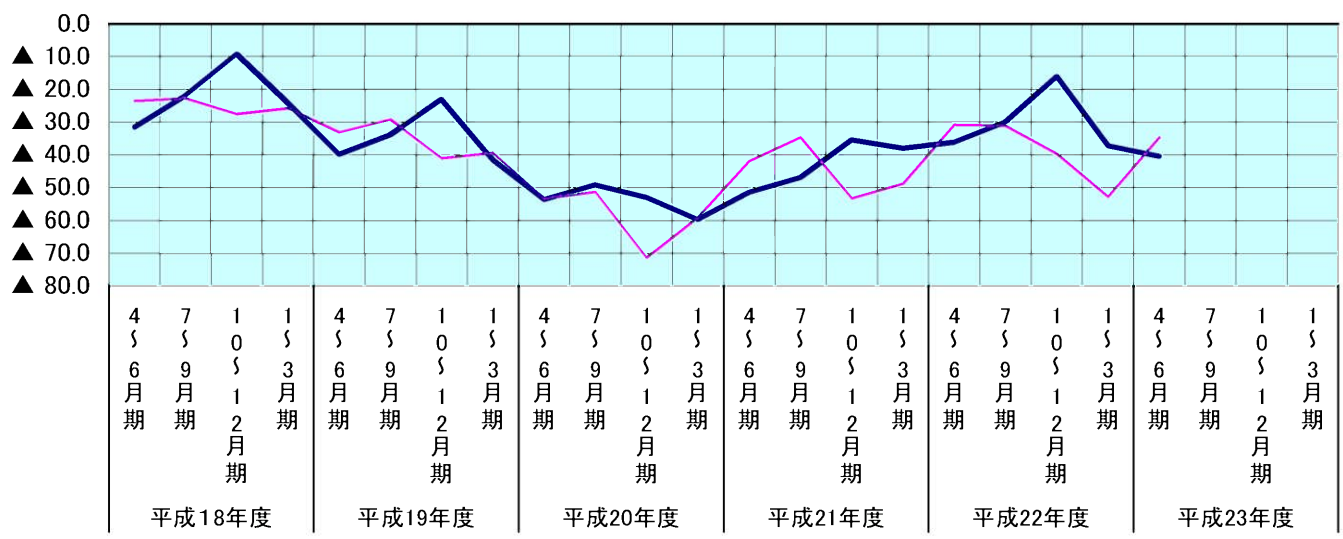
	前期に比べ	来期見通し
全業種	▲ 46.2	▲ 45.0
小売業	▲ 50.0	▲ 37.9
卸売業	▲ 41.9	▲ 56.7
製造業	▲ 28.2	▲ 34.2
建設業	▲ 49.1	▲ 50.9
運輸・交通	▲ 57.1	▲ 64.3
サービス業	▲ 55.2	▲ 42.3

(好転割合－悪化割合)

全業種

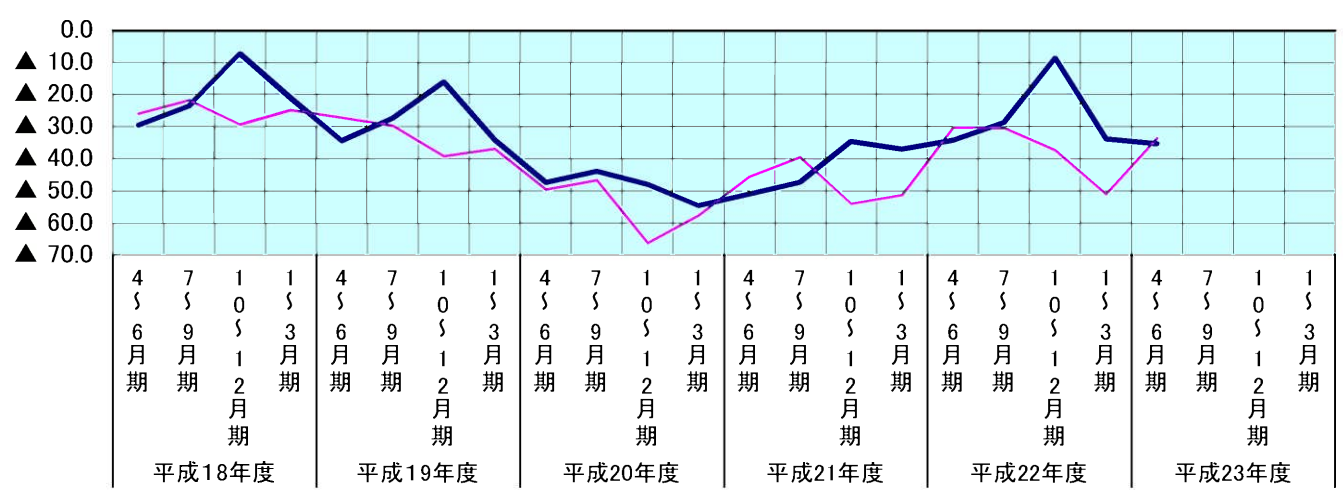
業況D.I.の推移

前期比 来期見通し



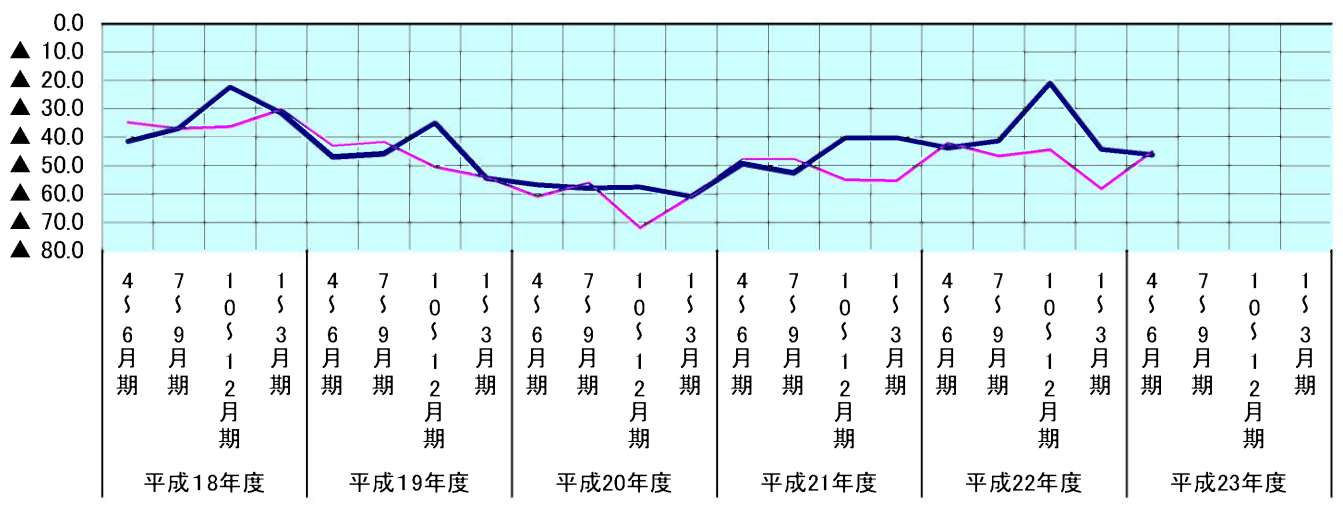
売上D.I.の推移

前期比 来期見通し




採算D.I.の推移



前期比 来期見通し



【景気天気図】

業 種	項 目	業 況	売 上	採 算
小 売 業	4月～6月 実 績			
	7月～9月 見 通 し			
卸 売 業	4月～6月 実 績			
	7月～9月 見 通 し			
製 造 業 (工 業)	4月～6月 実 績			
	7月～9月 見 通 し			
建 設 業	4月～6月 実 績			
	7月～9月 見 通 し			
運 輸 ・ 交 通 業	4月～6月 実 績			
	7月～9月 見 通 し			
観 光 サ ー ビ ス 業	4月～6月 実 績			
	7月～9月 見 通 し			

景 気 天 気 図 の 説 明

					
大変良い	良い	まあまあ	少し悪い	悪い	大変悪い